



学校法人別府大学 明星小学校 令和6年度学校だより

Myojo Kirari

第2号



【令和6年4月16日発行】 学校HP

発行者 校長 米持 武彦

令和6年度の明星小が動き始める！

先週の懇談会へのご参加、大変ありがとうございました。また、今週から家庭訪問がはじまり、大変お世話になります。短い時間ですが、お子様の教育について思いを共有ください。

学校では児童会選挙戦がスタートしました。19日が立会演説会で、投票は3年生以上で行います。子どもが主体的に探究する学校づくりに、児童会にも積極的に参画してもらいます。

先生たちも、すでにトップギアで走り始めています。



◇田中 ^{はじめ} 肇 教頭先生からのメッセージ

教頭の田中です。本校に在籍してから25年目になります。明星小学校の好きなところは、私が明星学園に入った27年前（最初2年間明星中学校に在籍して数学を教えていました）から変わっていません。「家庭的な雰囲気」「子どもとともに」という考え方が根底に流れているところです。

担任を離れ、教頭職をいただきましたが、これまで同様、いえ、これまで以上に子どもたちのため、明星小学校のために、微力ではございますが尽力してまいります。保護者の皆様におかれましては、これまでと変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。



◇理科専科の 草野 ^{しげお} 茂生 先生取材しました

新しく着任した理科専科の草野先生にお話を聞くと「小学校で授業するのが20年ぶり位なので、今、授業の楽しさを実感しています。例えば、6年生では、酸素や二酸化炭素について、まだ扱ってないのに、ガラス瓶を火の付いたろうそくに被せたら火が消える様子を見ると、『空気がなくなったから？』『酸素がなくなって二酸化炭素に変わったから？』など、経験や知識を使って原因を探ろうとしたり、ノートに『次の理科の授業が楽しみになりました。』と書いていたりして、改めて、子どもたちの存在の尊さを感じながら授業をしています。」と話していました。

4年生の授業後に子どもたちにインタビューしてみると、Aさん：「細かいところ（言葉の意味など）を丁寧に教えてくれて、分かりやすいです。」Bさん：「とにかく楽しいし、姿勢をよくと言われた時、ピンと背筋を伸ばすと、『そこまでしなくていいよ』と、言ってくれました。」などと話していました。

（※先生方の紹介は、順次行っていきます）

